

勝連城跡周辺回遊観光整備基本計画の策定に向けた 住民意向調査結果

1. 調査概要

- 目的 : 集落を含めて回遊路観光を創出することに対する地域住民の考えを聴くとともに、回遊ルートのポイントやアイデア、協力できる内容等を聴くことで、協力意識を啓発する。また、キーパーソンの発掘を行う
- 実施方法 : グループインタビュー形式
- 実施場所 : 南風原公民館
- 実施日 : 平成26年10月6日(月) 19:00~21:00
- 対象 : 「かっちん南風原まちづくり検討会」と「市民WS」の参加者

2. グループインタビュー結果概要

	アイデア、意見
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・カッチンパーマーのストーリー性を持たせる ・文化体験学習ができる仕組みをつくる
拝所 (御嶽、カー等)	<ul style="list-style-type: none"> ・パワースポット巡り(地域住民に配慮する必要がある) ・清掃の取り組みを復活させる ・なくなってしまった村獅子を復元する
休憩所	<ul style="list-style-type: none"> ・回遊させるためには、途中にトイレや休憩所が必要 ・維持管理もしっかりする必要がある
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクル、サイクリングコース ・高齢者や障がい者のため、拠点には駐車場が必要である ・訪問者に対する案内サインを設置する
農地	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地に、訪問者が歩いて楽しめるように花を植える ・昔ながらの農作物(稲等)を再現した農業体験
空き家	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家を活用して農業体験、古民家の再生
ユビタ	<ul style="list-style-type: none"> ・ユビターに行くまでにある階段は街灯やヘビ対策などを整備する
元島原	<ul style="list-style-type: none"> ・元島から集落移動の歴史をたどるストーリーをつくり回遊させる ・浜川ウカー近くに石畳は整備が必要である
海岸	<ul style="list-style-type: none"> ・浜屋東(ハマヤアガリ)には観光のポテンシャルがある。砂浜も残っている

3. グループインタビュー結果

Aグループの意見

■拝所

<提案>

- ・パワースポットとしての活用も考えられるが、地域住民の生活の場でもあることに配慮する必要がある。
- ・来訪者に対して、神聖な場所であることを周知する必要がある。

■勝連城周辺

<提案>

- ・採石場の移転が必要である。

■休憩所・トイレ、直売所

<現状>

- ・うるまーいのコースとなっている勝連城跡から浜屋集落を歩くコースは、2時間半から3時間を要するため、炎天下の中で歩いているとアイスクリームが食べたくなる。
- ・トイレの清掃はシルバー人材に委託している。
- ・うみんちゅ広場にトイレはあるが、きれいでない。

<提案>

- ・回遊させるためには、途中にトイレや休憩所が必要であり、その維持管理もしっかりする必要がある。
- ・勝連城跡周辺や浜屋集落周辺に直売所があると良い。
- ・漁港の売店は漁協組合が経営しており、そこの連携も考えられる。

■移動

<提案>

- ・距離が離れていることから移動手段の工夫が必要である。
- ・人力車で回る工夫や、馬に乗って回るコースをつくれなにか。
- ・サイクリングコースとして、ユビタの奥を通るコースが考えられる。
- ・遊歩道として、勝連城→浜川ガー→クトジ御嶽→浜崎の寺→南風原集落のコースが考えられる。
- ・散策路には桜の木などを植えることも良いと思う。
- ・集落内の道路は狭いため、集落内の回遊にあたっては、入口に駐車場を設置するなど、車で入って来ないような工夫が必要である。
- ・高齢者や障がい者のため、拠点には駐車場が必要である。

■活動

<現状>

- ・フクギの実は掃除が大変である。
- ・希の会が県道16号線沿いの草刈りを実施しているが、刈った草の処理に困っている。

<提案>

- ・希の会の活動を継続する仕組みが必要である。その一つの方法として、協力者を得るPRをすることで参加者を増やすことが考えられる。
- ・希の会のような活動団体を増やし、それらをまとめ、組織化できると良い。

■広域的なネットワーク

<提案>

- ・勝連城跡周辺だけではなく、島嶼地域までを含めたネットワークも考える必要がある。

■海岸線

<現状>

- ・海岸線が活用されておらずもったいない。

<提案>

- ・海岸線の木々は、浜屋集落の防風林でもあることから、安易に撤去するのではなく、きれいに整える。

■その他

- ・ユビターとは、足が立たないほど深いという意味である。

■キーパーソンについて

- ・与勝病院近くでランチを営業している店舗
- ・漁業組合
- ・旅行事業者

Bグループの意見

■農地について

<現状>

- ・勝連城跡周辺の農地では、菊やサトウキビ、オクラ等が生産されている。
- ・遊休農地がある。
- ・南風原公民館で朝市が行われている。

<提案>

- ・勝連城跡周辺の遊休農地に、訪問者が歩いて楽しめるように花を植える。
- ・昔ながらの農作物（稲等）を再現した農業体験。
- ・勝連城跡周辺に植える花は、地域に昔からある花や旧勝連町に関連する種類が望ましい。
（リュウキュウハギ、リュウキュウベンケイ、アリアケカズラ（旧勝連町花）、ハイビスカス等）
- ・農地の中にヤギを活用。
- ・農地で生産されている農作物をその場ですぐ食べられる施設の整備。

■カーについて

<現状>

- ・カーは、戦前まで生活用水として利用していたが、現在は利用されていない。
- ・カーの清掃は、年1回実施している。以前は青年会が清掃を行っていた。

<提案>

- ・カーの清掃の取り組みを復活させる。
- ・カーの前などを石畳等で整備する。
- ・カーの水に触れられるように整備する。
- ・カーなどの湧水は、水が減らないと湧き出てこないため、水をくみ上げるポンプ等を設置する。
- ・パワースポット巡りとして活用する。

■空き家について

<現状>

- ・集落内には空き家がある

<提案>

- ・空き家を活用して農業体験
- ・古民家の再生

■回遊路、散策路について

<現状>

- ・勝連城跡に向かう人が道に迷っている。
- ・勝連城跡の南側の入り口が歩きにくい。

<提案>

- ・勝連城跡への訪問者に対する案内サインを設置する。
- ・勝連城跡の南口入口から海に抜ける道を歩けるように整備する。
- ・歩いている人が休憩できる休憩所、東屋、ベンチを整備する。
- ・木陰があると、歩きやすくなる必要
- ・レンタサイクルは、自転車専用道を整備すれば、地域住民も利用する。
- ・車で走ると音（リズム）がなる等の楽しめる道路を整備する。

■ユビラーについて

<現状>

- ・現在、ユビラーまでの道がない。
- ・ユビラーには、カメやメダカなどが生息している。

<提案>

- ・ユビラーまでの通路を整備する。
- ・ユビラーに季節によってどのような鳥が来るのか情報を発信する。

■その他

<提案>

- ・南風原集落内に、石畳や石垣などの昔の風景を再現する。
- ・独特のいわれのある阿麻和利に関連した情報発信を行う。
- ・集落内での住民の暮らし方を調査する。
- ・既存のイベントの活用。過去実施していたイベントの復活。

■キーパーソンについて

- ・うるま市みどり審議会
- ・希の会
- ・オクラ協同組合（オヤタカツジ氏）
- ・農業委員（カネシロハルミ氏、カネシロヨシノブ氏）
- ・老人クラブ会長

Cグループの意見

■本集落について

<現状>

- ・集落のかたちが魅力である。
- ・昔の土地区画整理が残っている。
- ・アシビナー近くに一本松があり、そこから碁盤目状の集落がきれいに見える。

<提案>

- ・アシビナー近くに一本松を視点場にする。
- ・なくなってしまった村獅子を復元する。そうすることで、現状保存状態が良い村獅子（イリガー付近）の価値が高まる。
- ・カッチンバーマーのストーリー性を持たせた観光ができると良い。
- ・カッチンバーマーについて子供でもわかるマンガ風のパンフレットを作成する。そうすれば、『肝高の阿摩和利』のように現代演劇に発展する。
- ・各々の家や屋敷内の植栽をきれいにする。個人単位で美化活動をするべきである。きれいになると人が集まる。
- ・空き家や空地进行をきれいにする。
- ・文化体験学習ができる仕組みがあると良い。時代・歴史をたどるストーリーが必要。

■ユビダーについて

<現状>

- ・昔は闘牛場があった。
- ・ユビダーに行くまでにある階段は現状として誰も使わない。

<提案>

- ・名称は『ユビダー』に統一してほしい。
- ・ユビダーに行くまでにある階段は街灯やヘビ対策などを整備する。

■川辺周辺について

<現状>

- ・トントンミーなどの生物を見ることができる。

<提案>

- ・自然体験学習などができる。

■農地について

<現状>

- ・観光農園を整備する計画がある。
- ・牛舎がある。

<提案>

- ・農道の整備。

■勝連城跡について

<現状>

- ・勝連城西側にさんかく山や昔の道があった。

<提案>

- ・正門と城跡までの道路整備が必要。
- ・勝連城跡のガイド：仲村さん

■元島について

<現状>

- ・元島古堅は本集落のルーツである。集落は300年前に移動した。
- ・浜川ウカー近くに石畳が残っている。
- ・クトゥジ御嶽近くに龍宮がある。

<提案>

- ・元島から集落移動の歴史をたどるストーリーをつくり回遊させる仕組みをつくる。
- ・浜川ウカー近くに石畳は整備が必要である。集落移動のストーリーに組み込める資源である。

■海辺について

<現状>

- ・浜屋東（ハマヤアガリ）には観光のポテンシャルがある。砂浜も残っている。
- ・昔米軍が作った栈橋がある。

<提案>

- ・滞在型の観光ができる仕組みが必要。
- ・農業と水産業を活かした観光をつくる。

■観光について

<提案>

- ・資源を復元することで、人を集める仕掛けをつくる。
- ・肝高道の駅の整備。
- ・南風原区で運営する観光があるといい。
- ・喫茶店やレストランなどは個人で取組んでできることではないか。地域の食材が楽しめるレストランがあるといい。
- ・整備や維持管理では最終的に人を雇ってやっていく必要がある。

- 写真を募集する。
- みんながガイドになれるのではないか。

■回遊ルートについて

【緑の散策路】

- 『緑の散策路』は見所がない。
- 電車やケーブルカーなどを導入してはどうか。

【親水の散策路】

- 道路として見せたい状況ではない。
- 農道を通るルートはあまり良くない。
- 勝連城跡がきれいに見える視点場である。

【その他】

- 遊歩道をつくる。
- 本集落ガンヤー裏手の方から回るルートをつくってはどうか。
- 自転車が通れる道の整備をしてはどうか。

■キーパーソンについて

- 田原真孝（元勝連町役場職員・教育委員会）
- 上江洲安吉（元教育委員長（出席者））
- 宮城伸一（役所職員（出席者））